別記様式（第１１条関係）

令和７年３月24日

深川市議会議長　近沢　弘幸　様

会 派 名　　公政クラブ
代表者名　鶴岡　恵司　印

政務活動費収支報告書

深川市議会政務活動費の交付に関する条例第１１条第１項（第２項）の規定により、下記のとおり令和６年度政務活動費収支報告書を提出します。

記

１　収入
　　政務活動費　　６００，０００円

２　支出

（単位：円）

科目	金額	備考
調査研究費	404,720	第86回全国都市問題会議(兵庫県姫路市) 岡山県岡山市(高校・大学の取り組み)
研修費		
広報費		
広聴費		
要請・陳情活動費	165,196	北海道庁、議員会館他
会議費		
資料作成費		
資料購入費	30,084	地方公共団体のための補助金活用ガイド
人件費		
事務所費		
合計	600,000	

（注）　備考欄には、主たる支出の内訳を記載する。

３　差額　　0　円

別記様式第５号(第４条関係)

令和7年3月24日

深川市議会議長　近沢　弘幸　　様

会　派　名　　公政クラブ

代 表 者 名　　鶴岡　恵司　　印

政務活動費実績報告書

深川市議会政務活動費の交付に関する条例第８条の規定により、下記のとおり報告します。

記

使　途	☑調査研究費	□研修費	□広報費	□広聴費	☑要請・陳情活動費
	□会議費	□資料作成費	□資料購入費	□人件費	□事務所費
実施期間	①要請活動２月５日～7日（要請・陳情活動費）				
実施場所	①要請・陳情活動費(議員会館)				
参加者名	鶴岡恵司、北村　薫、有働正夫、村上　誠　、近沢弘幸				
実 績 額	240,300円（うち交付請求額　133,256円）				
内　　容	要請活動(別紙報告書添付) (1) 議員会館 調査活動(別紙報告書添付) (1) ふるさと回帰支援センター (2) ホクレン東京事務所 (3) 北海道東京事務所				

令和６年度「公政クラブ」政務活動報告書

期　　日：　令和７年２月５日～7 日
視察研修地：　1.東京都　北海道道産子プラザ視察
2.東京都　ふるさと回帰支援センター
3.東京都　ホクレン東京支店
4.東京都　北海道東京事務所
5.東京都　国会議員要請活動
参　加　者：　鶴岡恵司、近沢弘幸、北村　薫、有働正夫、村上　誠

調査内容

２月５日(水)　北海道道産子プラザ視察
　道内各地の産品を各種取り揃えて販売。客入りも多く、盛況であった。

２月５日(水)　ふるさと回帰支援センター
＜出席者＞
　高橋公理事長、高倉久代東日本担当部長、飯田尚子東日本担当マネージャー、大貫絵梨相談員
＜内容＞
　ふるさと回帰支援センターの現状について

2002 年 11 月全国の消費者団体、労働組合、農林漁業団体、経営団体、民間団体や有志らにより NPO 法人として設立。都道府県別のブースを作り、地方移住希望者への相談や会員自治体の移住情報発信等を行っている。

移住者への相談は、移住相談員による個別相談、先輩移住者による体験談などの地方暮らしセミナーの実施している。問い合わせ件数は 2014 年より急速に増加し、2024 年では 61,720 件である。

自治体向けには、自治体の移住担当者や受入団体を対象とした研修会を実施し、国の施策や地域の現状等情報を提供したり、協力体制づくりを支援している。

２月５日(水)　ホクレン東京支店

＜出席者＞

長内和彦支店長。菊地修次長、大堀剛史係長、山之内良輔主査

＜内容＞

2024 年は想定外の米価高騰により、米を取り巻く環境が大きく変化した。その現状について説明頂いた。

主食用米の需要量は毎年下がり続けていたが、2024 年はインバウンドの消費の増加や地震に備えた買いだめ等により需要が増加、販売店の棚から米が消える騒ぎとなった。米の収穫が始まれば価格は落ち着くと思われていたが、中食・外食での消費が堅調で、落ち着くどころか上昇傾向が続いた。販売価格は 2024 年 6 月より上昇が始まり、11 月には北海道産ななつぼしで 3,500 円/5kg(税込み)となった。販売数量は、南海トラフ地震臨時情報(8 月 8 日発表)、その後の地震、台風等による買い込み需要が発生したこと等により 8 月から 9 月にかけて昨年の 5 割増しとなったが、9 月～10 月はその反動で昨年を下回る水準で推

移し、12 月 2 日の週は前年同期の-10%であった。

ホクレン東京支店における令和 5 年産北海道うるち米契約実績は、主食用で 86,949 トン、品種別では、ななつぼし 59%、ゆめぴりか 25％、きらら 397 11%、ふっくりんこ 4%、その他 1%である。加工用で 19,553 トン、品種別ではななつぼし 34%、きらら 397 29%、そらゆき 12%、えみまる 6%、その他 19%であった。

２月６日(木)　北海道東京事務所

＜出席者＞

上田晃弘東京事務所長、牧野幹芳副所長、古関明教行政課長

＜内容＞

1. 医師確保に関すること

医師の偏在が著しい北海道の実情を踏まえ、北海道全体の医師の確保を図るため、平成 20 年度より道外医師の招聘活動を行う医師確保担当の参事を設置し、取り組みを実施している。道内での勤務を希望する医師との面談や関係団体等との意見交換・情報収集、道内医療機関の視察・体験勤務同行訪問などを行った。

2. 企業誘致の促進

新規立地に向けた誘致活動、既に道内に立地している企業のフォローアップなどの企業訪問のほか、フォーラム、展示会等経済部行事をサポートしている。令和６年は国際モダンホスピタルショウ 2024, Bio　Japan2024、第５１回国際福祉機器展＆フォーラム、2024 国際航空宇宙展を実施した。

２月６日(木)　国会議員要請

深川市の懸案事項に関する要望書を国会議員に手交した。内容は

1. 農業の振興について
2. 地域医療の確保と自治体病院の経営強化支援
3. 緊急医療の維持・確保
4. 小中学校の学習環境について
5. 一般国道の整備促進
6. 河川の整備

要請先は次の通り

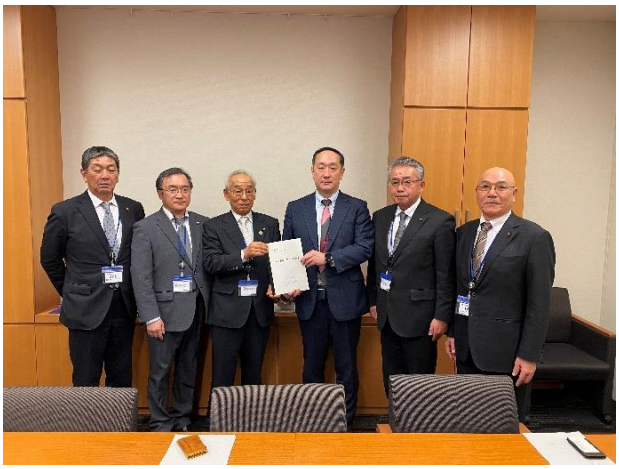
東　国幹　衆議院議員

神谷　裕　衆議院議員

佐藤英道　衆議院議員

長谷川岳　参議院議員

横山信一　参議院議員



別記様式第５号(第４条関係)

深川市議会 受付 6.12.16 事務局

令和６年12月16日

深川市議会議長　近沢　弘幸　　様

会　派　名　　公政クラブ

代 表 者 名　　鶴岡　恵司　　印

政務活動費実績報告書

深川市議会政務活動費の交付に関する条例第８条の規定により、下記のとおり報告します。

記

使　途	□調査研究費	□研修費	□広報費	□広聴費	□要請・陳情活動費
	□会議費	□資料作成費	☑資料購入費	□人件費	□事務所費
実施期間	資料購入　７月 11 日（資料購入費）				
実施場所	地方公共団体のための補助金活用ガイド」内容更新				
参加者名	―				
実 績 額	30,084 円（うち交付請求額　30,084 円）				
内　　容	会派書籍（控室書架）地方公共団体のための補助金活用ガイド」定期更新				

別記様式第５号(第４条関係)

令和６年12月16日

深川市議会議長　近沢　弘幸　　様

会　派　名　　公政クラブ

代 表 者 名　　鶴岡　恵司　　印

政務活動費実績報告書

深川市議会政務活動費の交付に関する条例第８条の規定により、下記のとおり報告します。

記

使　途	☑調査研究費	□研修費	□広報費	□広聴費	□要請・陳情活動費
	□会議費	□資料作成費	□資料購入費	□人件費	□事務所費
実施期間	調査活動 10 月 16 日～18 日（調査研究費）				
実施場所	調査研究費（第 86 回全国都市問題会議他）				
参加者名	鶴岡恵司、北村　薫、有働正夫、村上　誠				
実 績 額	404,720 円（うち交付請求額　404,720 円）				
内　　容	調査活動～別紙のとおり				

令和６年度「公政クラブ」政務活動報告書

期　　日：　令和６年 10 月 16 日～18 日
視察研修地：　1.岡山市　IPU・環太平洋大学、創志学園高校
　　2.姫路市　第 86 回全国都市問題会議
参　加　者：　鶴岡恵司、北村　薫、有働正夫、村上　誠

調査内容

10 月 17 日(木)　IPU・環太平洋大学および創志学園高校　（岡山県岡山市）
＜調査目的＞
　教育環境整備および専門性の高いクラスの設置について

＜IPU・環太平洋大学＞

IPU・環太平洋大学　学長	大橋　節子
副理事長・学園長	大塚　敏弘
創志学園　校長	今井　康好
創志学園　事務局長	河野　英俊
専修高校クラーク高等学院　学校長	福永　智教

2007 年開学。建築家安藤忠雄氏設計の校舎が目を引く.
日本の，さらには世界のどこにもない大学を目指して，学生一人ひとりの夢・挑戦・達成に向けて最高の機会，最高の環境，最高の支援を提供できる大学教育に挑んだとのこと。経済経営学部(現代経営学科)，次世代教育学部(こども発達学科，教育経営学科)，体育学部(競技スポーツ科学科，体育学科，健康科学科)の３学部６学科を擁し，一学年 810 名の定員数で，入学者数は定員に達しているとのことである。2025 年には東京に国際経

済経営学部国際経済経営学科を新設する予定である。

教育理念

教育とスポーツの融合

時代の求める教育の追求

教育をする者も教育をされる者も共に成長しながら教え育む（共育）

経済経営学部

予測不能な時代といわれている現代社会を生き抜くためには、自分自身で問題を発見して改善・解決策を探り、それを実現する方法を構想して具体策を考え、行動する必要がある。こうした一連の取り組みに多種多様なテーマで挑戦し、社会に求められる人材を育成する。

次世代教育学部

未来を担う健全な次世代を育てることができる保育者・教育者・指導者として活躍する人材を育成

体育学部

競技スポーツでの活躍を目標に競技力向上を図ることができる知的アスリート、および、科学的知識と専門スキルを活かしてトップアスリートの競技力向上を図ることのできる人材を育成

＜創志学園高校＞

従来の高校という枠を超えた創志学園では、2024 年春に新校舎を建設し、加えて理数特別コース、特別進学コース、創造進学コース、看護科を新設、社会のニーズに合わせた教育を実施している。進学力、英語力、科学力の3つの力を強みに生徒それぞれに合っ

た指導を行っている。

〇学校の理念
　「挑戦と創造の教育」
・“不易の教育”をしっかりと実践し、“流行の教育”に対しては固定観念を持たず、限界を作らず、果敢に取り組む。
・教育創造集団として、大きな夢と確信をもち、可能な限りの挑戦と、新しい教育の創造を追求する。

「夢・挑戦・達成」
・自分で夢を描き、自分で目標を立て、それを叶えるために持続した挑戦を行う。そして達成することができたら、その成功体験を喜びや励みとして次の夢、目標の達成に向かっていく。

〇指導方針
・「志」を創る
行動指針である「夢・挑戦・達成」を念頭に「志を創る」という意気込みを基に３年間指導する。
・「挑戦と創造の教育」のもと、国際社会で活躍する次世代のリーダーの育成を目指す。そして、生徒一人ひとりの「自己実現」が他者の自己実現へとつながり、社会の発展と人類の幸福に貢献できる人間になってもらいたいと考える。

＜調査を振り返って＞
　指導者の熱意と学生のやる気を感じた。当市の公立高校 2 校についても、生徒の希望に沿うような指導体制が必要であると考える。

10 月 17 日(木)～18 日(金)　第 86 回全国都市問題会議　（兵庫県姫路市）
＜テーマ＞
　健康づくりとまちづくり～市民の一生と寄り添う都市政策～

第１日目

開会式

開会挨拶　　全国市長会会長　広島県広島市長　　松井　一

開催市市長挨拶　兵庫県姫路市長　　清元　秀泰

基調講演　「生命を捉えなおし―動的平衡の視点から―」

福岡　伸一(生物学者、青山学院大学教授)

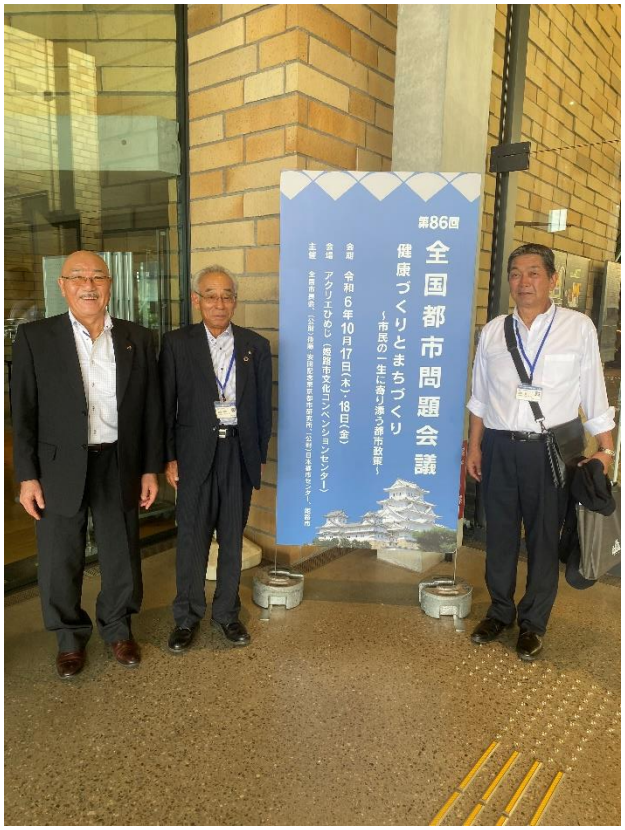
主報告　「市民の「LINE」(命・くらし・一生)を守り支える姫路の健康づくりとまちづくり」　清元　秀泰(兵庫県姫路市長)

一般報告　「都市そのものを健康にするまちづくり」

井崎　義治(千葉県流山市長)

「IT/AI の健康分野への適用例」

畑　豊(兵庫県立大学副学長)



基調講演

生命とは、手、足、胴体、頭、あるいは各臓器といった部品が組み合わされて出来た機械的なものとする生命観があるが、講演者はシェーンハイマーの生命観、すなわち「自らを積極的に壊し続けることによって、系内にたまるエントロピーを捨て続け、またそれを作り直すことでなんとかバランスを保つ。それが生命体の特性である」をもとに考察した。

一般報告

一般報告の中のうち、「IT/AI の健康分野への適用例」について報告する。

2008 年から 2012 年の姫路市の男女 13,033 人の健康診断データを用いた解析を行った。データ処理方法はファジィ理論を用いた。健康診断検査項目のうち、

BMI、収縮期血圧、拡張期血圧、中性脂肪、HDL コレステロール、LDL コレステロール、GOT、GPT、γ-GTP、ヘモグロビン A1c(HbA1c)、クレアチニン、尿素、の１２種類の検査項目を使用し、健康なら 1.0、不健康なら 0.0 の値が算出される。姫路市の結果は、姫路市の男性は糖尿病になるリスクが女性より高い。女性の LDL は男性より悪いことを示した。このようにファジィ値は地域の健康特性を表すことができるとのことであった。深川市でも算出する必要があるように思えた。

第２日目

パネルディスカッション

【テーマ】 健康づくりとまちづくり

【コーディネータ】中央大学法学部教授　宮本　太郎

【パネリスト】

高岡病院児童精神科医　三木　崇弘

NPO 法人日本栄養パトネット理事長　奥村　圭子

長野県茅野市長　今井　敦

大阪府泉大津市長　南出　賢一

閉会式

次期開催市市長挨拶　栃木県宇都宮市長　佐藤　栄一

閉会挨拶　公益財団法人後藤・安田記念東京都市研究所理事長

小早川　光郎

別記様式第５号(第４条関係)

令和６年12月16日

深川市議会議長　近沢　弘幸　　様

会　派　名　　公政クラブ

代 表 者 名　　鶴岡　恵司　　印

政務活動費実績報告書

深川市議会政務活動費の交付に関する条例第８条の規定により、下記のとおり報告します。

記

使　途	□調査研究費	□研修費	□広報費	□広聴費	☑要請・陳情活動費
	□会議費	□資料作成費	□資料購入費	□人件費	□事務所費
実施期間	要請活動 11 月 18 日（要請・陳情活動費）				
実施場所	要請・陳情活動費（北海道庁他）				
参加者名	鶴岡恵司、北村　薫、近沢　弘幸、有働正夫、村上　誠				
実 績 額	31,940 円（うち交付請求額　31,940 円）				
内　　容	要請活動～別紙のとおり				

令和 6 年度「公政クラブ」政務活動報告書

期　　日：　令和 6 年 11 月 18 日
要　請　先：　1.北海道庁

参　加　者：　鶴岡恵司、北村　薫、有働正夫、村上　誠　近沢弘幸

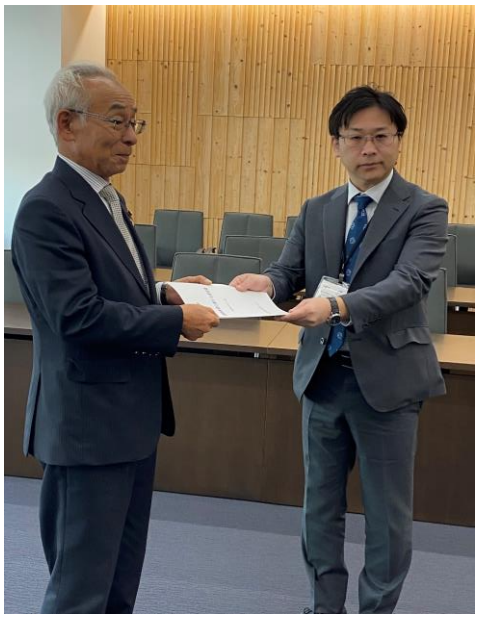
要請内容

11 月 18 日　深川市議会公政クラブによる道庁要請を行って参りました。

00_一覧表_R6北海道への要望　取りまとめ版.xlsx

No.	北海道 要望先	要望内容		市担当課	備考
001	建設部・札幌建設管理部	1　一般道道深川多度志線　二次改築事業の促進	継続	都市建設課	
002	建設部・札幌建設管理部	2　一般道道湯内内園線　歩道設置事業の促進	継続	都市建設課	
003	建設部・札幌建設管理部	3　主要道道旭川深川線　二次改築事業の促進	継続	都市建設課	
004	建設部・札幌建設管理部	4　砂防事業の促進（オキリカップ支流川）	継続	都市建設課	
005	建設部・札幌建設管理部	5　河川改修事業の促進（入志別川）	継続	都市建設課	
006	建設部・札幌建設管理部	6　河川改修事業の促進（クッカリシナイ川）	継続	都市建設課	
007	建設部・札幌建設管理部	7　主要道道深川雨竜線　無電柱化とバリアフリーの実施	継続	都市建設課	
008	建設部・札幌建設管理部	8　主要道道旭川多度志線　二次改築の促進	継続	都市建設課	
009	建設部・札幌建設管理部	9　一般道道幌内湯内線　路面改修の促進	継続	都市建設課	
010	建設部・札幌建設管理部	10 主要道道旭川深川線　無電柱化とバリアフリーの実施	新規	都市建設課	
011	建設部・札幌建設管理部	11 一般道道深川停車場線　バリアフリーの実施	新規	都市建設課	
010	農政部	1　農業農村整備事業に係る予算の確保について	継続	農政課	
011	農政部	2　スマート農業の推進について	継続	農政課	
012	農政部	3　資材高騰対策について	継続	農政課	
013	保健福祉部	1　地域医療の確保と自治体病院の経営強化支援	継続	病院管理課	
014	保健福祉部	2　救急医療の維持・確保	継続	健康・子ども課	
015	保健福祉部	3　子育ての経済的負担軽減への支援	継続	市民生活課	
016	総合政策部	1　路線バス乗務員の確保対策の強化について	継続	まち未来推進課	
017	北海道教育委員会	1　小中学校の学習環境について	継続	学務課	
018	北海道教育委員会	2　道立高校の配置について	継続	学務課	

農政部　黒島課長



総合政策部　　齋藤課長

保健福祉部　高山次長

建設部　瀧川局長

教育庁　石川課長補佐